

卓上型高温マuffle炉 / MHSTシリーズ / 1200℃

No.2-2

特長

本炉は、常用温度1100℃にて使用する事ができます。発熱体構造は、両面ヒート方式で、1発熱体とセラミックファイバーの真空成形による一体化となっております。制御盤には漏電遮断機・各自表示灯・デジタルプログラム調節計が装備されております。

用途

各種の金属試験及び、焼入・焼鈍・その他一般実験、分析等熱処理及び多用途に使用できる実用的な卓上型高温マuffle炉で、広い分野に使用されております。

特長

◎電気炉の外殻温度

炉体ユニットと外殻は二重構造方式で冷却ファンにより殻面温度を低くしております。

◎ヒーター方式

ヒーターユニットはカーリッジ方式を採用し、ヒーター交換が容易にできます。

◎制御一体型です

炉体と制御盤は一体型にまとめコンパクトな卓上型タイプで設置面積をとらず、作業性が良いです。

◎安全回路

安全性では過電流保護・過昇温防止・バーンアウト回路装置が標準装備されております。

◎自動温度制御します。

P. I. D オートチューニング機能付デジタルプログラム調節計(16パターン)を搭載し温度管理は自動的に制御致します。

◎昇温時間

昇温時間は1100℃/(約)50分です。(空炉にて)

◎天井部に排気口があります

天井部に排気口を設け熱処理材料の中で排気が必要な場合や、又天井よりガス導入及び材料温度測定などにも、多用途にご使用いただけます。

外観



仕様

仕様	型式	MHST-22030	MHST-25235	MHST-32535
外形寸法		500W×850H×600D(mm)	660W×900H×800D(mm)	
炉内寸法		200W×200H×300D(mm)	250W×200H×350D(mm)	300W×250H×350D(mm)
電源		単相 AC200V 50/60Hz		
容量		4kw	6kw	8kw
温度		最高=1200℃ 常用=1100℃		
発熱体		カンタルA-1合金線		
炉内構造		セラミックファイバー質(ヒーター熱板は真空成形による一体化)		
制御方式		SSRとプログラム温度調節計によるP.I.D制御方式(16パターン)		
熱電対		JIS R熱電対		
安全回路		過電流保護・過昇温防止・バーンアウト回路付		
塗装色		マンセル2.5P B3.5/10焼付塗装仕上げ		
重量		(約)85kg	(約)137kg	(約)160kg

※ 記事内容は製品改良のため、お断りなく変更することがあります。ご了承ください。

—営業目的—

規格品電気炉各種・実験研究用特殊電気炉・雰囲気炉各種・貴金属関連炉及び自動温度制御装置



山田電機株式会社

YAMADA DENKI CO.,LTD

ホームページ: <http://yamadael11.ec-net.jp>

— 本社・工場 —

〒123-0873 東京都足立区扇 3-19-24

TEL 03(3898)7411

FAX 03(3898)0248

E-mail yamadael@abelia.ocn.ne.jp

取扱店